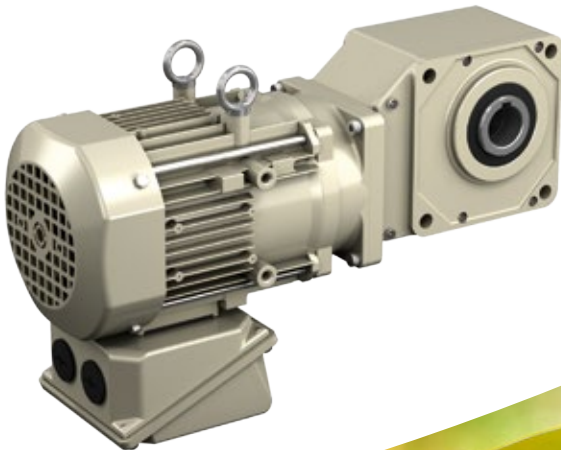
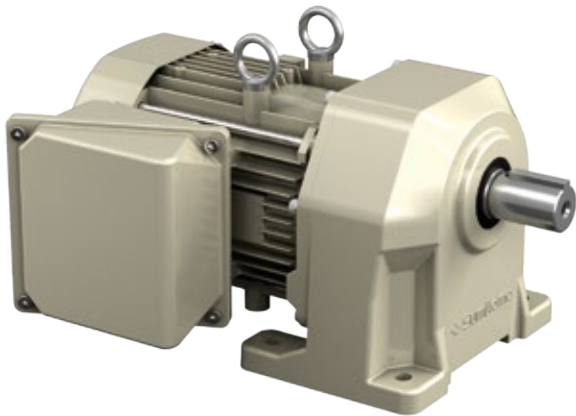


環境にやさしい

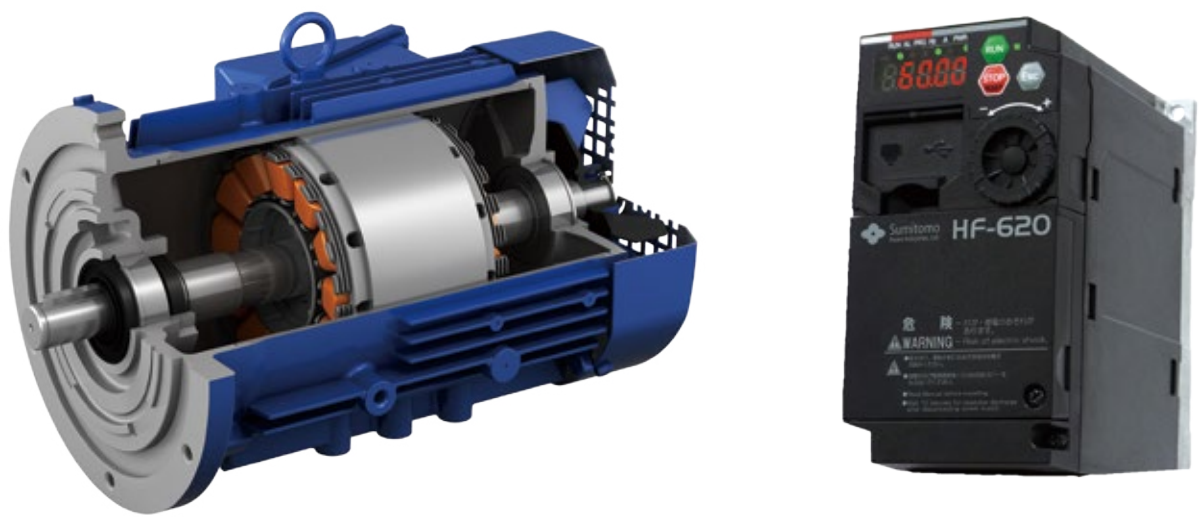
ウルトラプレミアム効率 **IE5** ギヤモータ

モータ容量

0.55~7.5kW



環境にやさしいウルトラプレミアム効率IE5ギヤモータが登場！

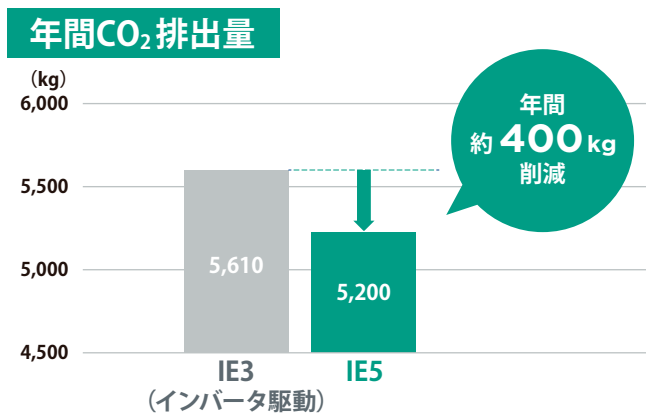
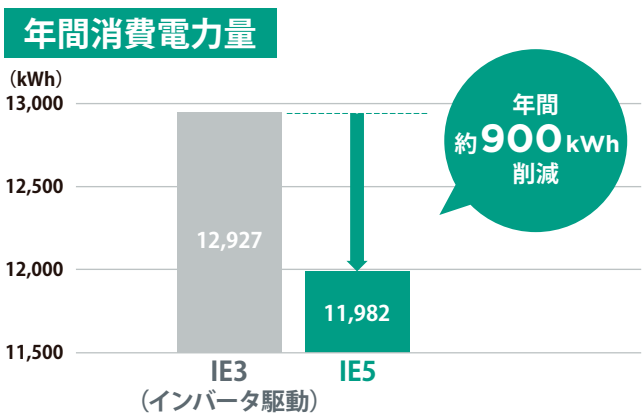


IE5 (ウルトラプレミアム効率) とは、モータの国際規格 (IEC60034-30-2) で設定されている効率区分IE1～IE5のうち、最も効率の高いクラスです。

永久磁石形同期モータ (PMモータ) はロータに永久磁石を使用しているため、二次電流による損失が発生しません。そのため、従来の誘導モータより高効率のIE5クラスを実現することができました。

このウルトラプレミアム効率三相同期モータを4種類の減速機に直結することで、消費電力を抑えた環境にやさしいギヤモータが誕生しました。

ウルトラプレミアム効率 (IE5) ギヤモータ (永久磁石形同期モータ) の運転には、制御用インバータが必要です。制御用インバータは、弊社製ギヤモータ用インバータHF-620シリーズを推奨します。



想定条件：モータ容量2.2kW、定格負荷、定格回転数、年間稼働時間5000h/年、CO₂排出係数0.434kg-CO₂/kWh
CO₂排出係数は電力会社や年度で異なります。

ギヤモータ形式 (例: プレストNEOギヤモータ)

Z N H M 1 - 1280 - E5 - B - 30

補助形式
E5 | ウルトラプレミアム効率三相同期モータ付

ウルトラプレミアム効率三相同期モータ付は、補助形式が「E5」となります。

モータ形式

T M - F X V 5 2

外被の形
T 全閉形

回転子記号
M 磁石形

保護方式
X 屋外形 (非防爆)

冷却方式
F 自己通風ファン付 (外扇)

規格・規制対応
5 ウルトラプレミアム効率モータ

電圧クラス
2 200V級
4 400V級

駆動電源
V インバータ駆動 (インバータ用モータ)

製作範囲／枠組み合わせ プレストNEOギヤモータ

主形式	減速比	3	5	10	15	20	25	30	40	50	60	80	100	120	160	200
	出力回転数	600	360	180	120	90.0	72.0	60.0	45.0	36.0	30.0	22.5	18.0	15.0	11.3	9.00
ZNHM ZNFM	0.55kW	1280							1321				1400			
		1280							1321				1400			
	0.75kW	1320							1401				1500			
		1400							1501							
	2.2kW															

注) 選定に関する詳細はご照会ください。

サービスファクター (SF)
(減速機の許容入力容量を
モータ容量で割った値)

1.0未満	
1.0～	
1.25～	



製作範囲／枠組み合わせ ハイポニック減速機／中空軸RNYMタイプ

主形式	減速比	5	7	10	12	15	20	25	30	40	50	60	80	100	120	150	200	240		
	出力回転数	360	257	180	150	120	90.0	72.0	60.0	45.0	36.0	30.0	22.5	18.0	15.0	12.0	9.00	7.50		
RNYM	0.55kW	1310																		
		1320							1420				1530							
	0.75kW	1310																		
		1320							1420				1530							
									1520				1531							
													1630		1631					
	1.1kW	1410																		
		1420							1520				1531		1630		1631			
	1.5kW	1410																		
		1420							1520				1531		1630		1631			
	2.2kW	1510																		
		1520							1531				1630		1631					
		1521																		
									1632											
	3.0kW	1521							1522				1632		1633					
	3.7kW	1521							1522				1632		1633					
5.5kW	1522							1633												
7.5kW	1634																			
	1634																			

主形式	減速比	5	7	10	12	15	20	25	30	40	50	60	80	100	120	150	200	240
	出力回転数	360	257	180	150	120	90.0	72.0	60.0	45.0	36.0	30.0	22.5	18.0	15.0	12.0	9.00	7.50

注) 240を超える減速比と選定に関する詳細はご照会ください。

サービスファクター (SF)
(減速機の許容入力容量を
モータ容量で割った値)

1.0未満	
1.0～	
1.25～	
1.5～	

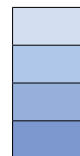


製作範囲／枠番組み合わせ サイクロ減速機

主形式	減速比 出力回転数	6 300	8 225	11 164	13 138	15 120	17 106	21 85.7	25 72.0	29 62.1	35 51.4	43 41.9	51 35.3	59 30.5	71 25.4	87 20.7
CNHM CHHM CNFM CHFM CNVM CVVM	0.55kW			6080	6085	6090		6095	6100	6105	6110	6115	6120	6125		
	0.75kW			6085	6090	6095		6100	6105	6110	6115	6120	6125	6130	6135	
	1.1kW			6090	6095	6100		6105	6110	6115	6120	6125	6130	6135	6140	6145
	1.5kW			6095	6100	6105		6110	6115	6120	6125	6130	6135	6140	6145	6160
	2.2kW			6100	6105	6110		6115	6120	6125	6130	6135	6140	6145	6160	6165
	3.0kW			6110	6115	6120		6125	6130	6135	6140	6145	6160	6165	6170	6175
	3.7kW			6115	6120	6125		6130	6135	6140	6145	6160	6165	6170	6175	6180
	5.5kW			6125	6130	6135		6140	6145	6160	6165	6170	6175	6180	6185	
	7.5kW			6130	6135	6140		6145	6160	6165	6170	6175	6180	6185		
主形式	減速比 出力回転数	6 300	8 225	11 164	13 138	15 120	17 106	21 85.7	25 72.0	29 62.1	35 51.4	43 41.9	51 35.3	59 30.5	71 25.4	87 20.7

サービスファクター (SF)
(減速機の許容入力容量を
モータ容量で割った値)

1.0～
1.2～
1.35～
1.6～



注) 上表に掲載しているサービスファクター(SF)を超える組み合わせ、87を超える減速比、選定に関する詳細はご照会ください。

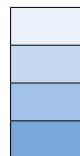
製作範囲／枠番組み合わせ

ベベル・バディボックス減速機 4シリーズ

主形式	減速比 出力回転数	11 164	13 138	14 129	16 113	18 100	21 85.7	22 81.8	25 72.0	28 64.3	35 51.4	39 46.2	46 39.1	53 34.0	60 30.0	67 26.9	74 24.3	80 22.5	88 20.5	102 17.6	112 16.1	123 14.6																				
LHYM LHUM LHFM LHHM LVYM LVUM LVFM LVHM LWUM LWFM LWHM	0.55kW																		4A100		4A105																					
	0.75kW																4A100		4A105			4A110																				
	1.1kW									4A100							4A105		4A110			4A115		4A120		4B120																
	1.5kW									4A100							4A105		4A110			4A115		4A120		4B120		4B125														
	2.2kW									4A100							4A105		4A110		4A115		4A120		4B120		4B125		4B140		4C140		4C145									
	3.0kW									4A110							4A115		4A120		4A125		4A140		4B120		4B125		4B140		4C140		4C145									
	3.7kW									4A115							4A120		4A125		4A140		4B120		4B125		4B140		4C140		4C145		4C160		4D160							
	5.5kW									4A120							4A125		4A140		4B120		4B125		4B140		4C140		4C145		4C160		4C165		4D160		4D165					
	7.5kW									4A120							4A125		4A140		4B140		4B145		4C140		4C145		4C160		4C165		4D160		4D165		4D170		4D175		4E175	

サービスファクター (SF)
(減速機の許容入力容量を
モータ容量で割った値)

1.0～
1.2～
1.35～
1.6～



注) 1. 上表に掲載しているサービスファクター(SF)を超える組み合わせ、123を超える減速比、選定に関する詳細はご照会ください。
2. □4取付と□2取付の一部は、上表と異なります。

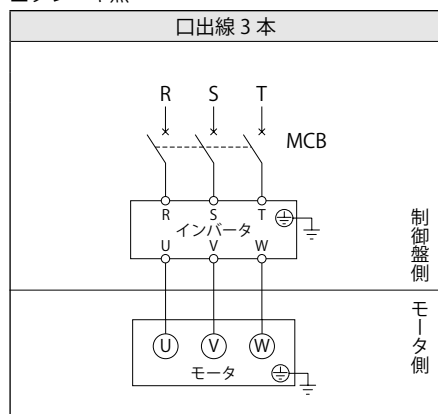
モータ部標準仕様

モータ仕様	標準仕様		内蔵形ブレーキ付標準仕様	
種類	永久磁石形同期モータ (PMモータ)		永久磁石形同期モータ (PMモータ)	
容量範囲	10P	0.55、0.75、3.0～7.5kW	10P	0.55、0.75、3.0～7.5kW FBブレーキ
	8P	1.1～2.2kW	8P	1.1～2.2kW FBブレーキ
保護方式	屋外形 (IP55 防塵防噴流形 屋外)		屋外形 (IP55 防塵防噴流形 屋外)	
外被構造	全閉外扇形		全閉外扇形	
電源	200V級 (インバータ: 200～240V 50/60Hz) または 400V級 (インバータ: 380～480V 50/60Hz)		200V級 (インバータ: 200～240V 50/60Hz、ブレーキ: 200～240V 50/60Hz) または 400V級 (インバータ: 380～480V 50/60Hz、ブレーキ: 380～440V 50/60Hz)	
定格回転数	1800r/min		1800r/min	
最高回転数	1800r/min		1800r/min	
耐熱クラス	155 (F)		モータ: 155 (F)/ブレーキ: F	
時間定格	S1 (連続)		S1 (連続)	
	0.55～3.7kW	180～1800r/min定トルク特性	0.55～3.7kW	180～1800r/min定トルク特性
	5.5、7.5kW	360～1800r/min定トルク特性	5.5、7.5kW	360～1800r/min定トルク特性
口出線本数	3本 (スタッドボルトタイプ端子台式)		5本 (スタッドボルトタイプ端子台式)	
規格	IEC60034-1 ウルトラプレミアム効率 (IE5) 対応		IEC60034-1 ウルトラプレミアム効率 (IE5) 対応	

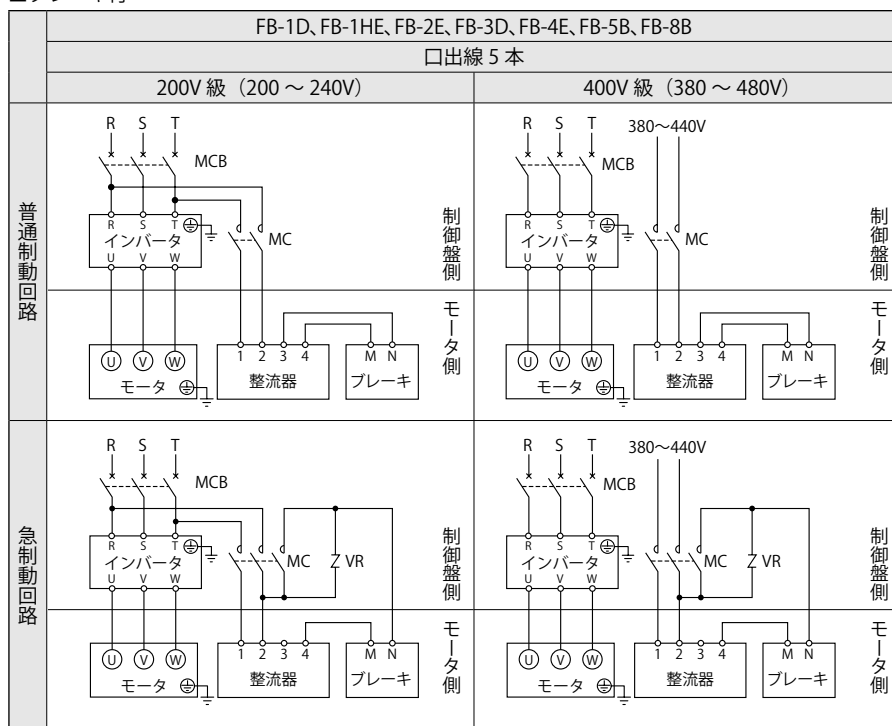
- 注) 1. ブレーキは保持用としてご使用ください。
2. ウルトラプレミアム効率 (IE5) ギヤモータ (永久磁石形同期モータ) の運転には、制御用インバータが必要です。
3. 標準仕様の設置場所は、屋内および屋外 (強い風雨は直接かからないが、一般的な雨水がかかる場所) です。露天環境で強い風雨を直接受ける場所では、カバーの設置もしくは耐暴風雨屋外形をご指定ください。
4. 電源はインバータの入力電圧、周波数を記載しています。
5. 標準でCEマーキングに対応しています。海外規格は他にUL/CE、CCC/CE仕様が製作可能です。詳細はご照会ください。

結線図

■ブレーキ無



■ブレーキ付



MC : 電磁接触器
MCB : 配線用遮断器
VR : バリスタ (接点・整流器などの保護用)

— お客様にてご準備ください。

- ・本図は日本国内標準仕様モータの場合を示します。海外仕様モータについてはご照会ください。
- ・普通制動回路と急制動回路では、ブレーキの動作遅れ時間が異なります。

- ・ブレーキは保持用としてご使用ください。
- ・400V級のブレーキ電圧は、380～440Vです。モータ電圧範囲と異なりますのでご注意ください。
- ・ブレーキ電源は、必ずインバータの一次側から取ってください。
- ・ブレーキ回路の電磁接触器の開閉は、インバータの制御とタイミングを合わせてください。

- ・上記の結線に従った場合、モータの回転方向は、国内向け三相誘導モータの逆回転 (モータ軸は反負荷側から見て左回転) となります。

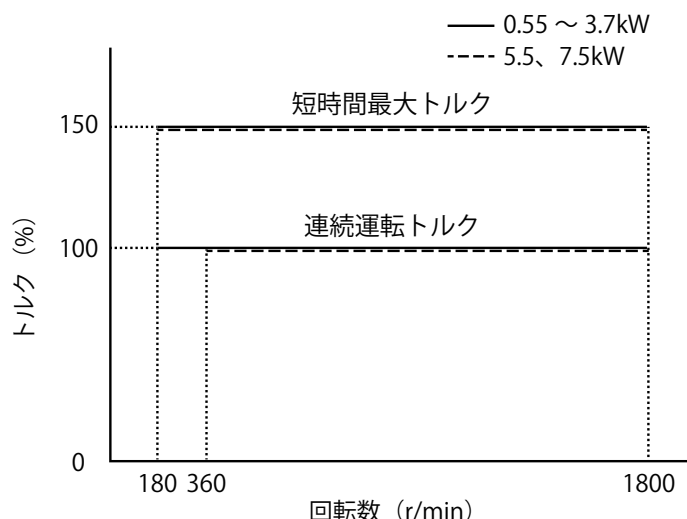
モータ特性表

モータ枠番	電源 出力 (kW)	極数	200V級 (200~240V)							
			定格電流 (A)	回転数 (r/min)	効率 (%)	IEコード	定格トルク (N・m)	定格電圧 (V)	トルク定数 (N・m/A)	誘起電圧 (V)
J-80S	0.55	10P	2.06	1800	93.0	IE5	2.92	170	1.42	162
			2.04	180	-	-		25.0		
J-80M	0.75	10P	2.79	1800	92.5	IE5	3.98	174	1.43	162
			2.75	180	-	-		27.1		
J-90S	1.1	8P	4.24	1800	93.2	IE5	5.84	169	1.38	157
			4.17	180	-	-		26.3		
J-90L	1.5	8P	5.60	1800	94.4	IE5	7.96	169	1.42	161
			5.53	180	-	-		26.3		
J-100L	2.2	8P	8.46	1800	94.3	IE5	11.7	166	1.38	157
			8.40	180	-	-		25.4		
J-112S	3.0	10P	11.8	1800	93.5	IE5	15.9	169	1.35	154
			11.6	180	-	-		28.4		
J-112M	3.7	10P	14.5	1800	93.2	IE5	19.6	169	1.35	156
			14.7	180	-	-		29.4		
J-132S	5.5	10P	21.7	1800	94.6	IE5	29.2	164	1.35	155
			21.6	360	-	-		41.3		
J-132M	7.5	10P	29.9	1800	94.9	IE5	39.8	165	1.33	153
			29.9	360	-	-		42.2		

モータ枠番	電源 出力 (kW)	極数	400V級 (380~480V)							
			定格電流 (A)	回転数 (r/min)	効率 (%)	IEコード	定格トルク (N・m)	定格電圧 (V)	トルク定数 (N・m/A)	誘起電圧 (V)
J-80S	0.55	10P	1.27	1800	91.0	IE5	2.92	297	2.30	278
			1.30	180	-	-		43.8		
J-80M	0.75	10P	1.68	1800	91.1	IE5	3.98	303	2.37	278
			1.66	180	-	-		47.7		
J-90S	1.1	8P	2.42	1800	93.5	IE5	5.84	292	2.41	276
			2.39	180	-	-		42.8		
J-90L	1.5	8P	3.15	1800	95.9	IE5	7.96	294	2.53	282
			3.16	180	-	-		41.3		
J-100L	2.2	8P	4.76	1800	95.7	IE5	11.7	291	2.46	277
			4.74	180	-	-		41.4		
J-112S	3.0	10P	6.80	1800	94.0	IE5	15.9	305	2.34	268
			6.67	180	-	-		43.6		
J-112M	3.7	10P	8.48	1800	94.4	IE5	19.6	285	2.31	265
			8.30	180	-	-		41.6		
J-132S	5.5	10P	12.6	1800	95.7	IE5	29.2	287	2.32	265
			12.6	360	-	-		67.2		
J-132M	7.5	10P	17.0	1800	95.3	IE5	39.8	287	2.34	272
			17.0	360	-	-		67.7		

- 注) 1. 誘起電圧は定格回転時での電圧を記載しています。
2. 本表の値は、予告なしに変更することがあります。

モータ運転範囲・トルク特性



- 注) 1. 使用するインバータにより特性値が異なる場合があります。
2. ブレーキ付モータの特性は同一です。
3. ブレーキ付モータを低速で長時間運転する場合、冷却ファンの効果が低下します。そのためブレーキの温度上昇が増加し運転条件が制限される場合がありますので、ご照会ください。
4. 連続運転トルクは、連続運転時にモータの温度上昇を規格値以内に抑えて運転できる許容トルク値を示します。
5. 短時間最大トルクは、短時間（1分以内）にモータが出力できる最大トルク値を示します。
6. トルク (%) は、モータ回転数が1800r/minの時のモータ定格トルクを100%とします。
7. 入力電圧が低い場合はトルク特性が低下する場合があります。

モータ部銘板例

・モータ容量、極数、 枠番、形式	○ 3 PHASE IE5 PM MOTOR 变频驱动永磁同步电动机	CE
・モータ特性	Hz V A r/min Nm %	Th.Cl. 155(F) IP55 CONT/S1 ENCLOSURE TEFC Max n 1800 r/min AMB -10 - +40°C
・モータ効率値	IE5	Converter duty VPWM IEC 60034-1 FACTORY SHV-01
・力率	P.F.	S/N
・トルク特性	constant torque range 180-1800 r/min	・製造番号(機番)
・ブレーキ形式、特性	BRAKE制动器	・定格回転数における誘起電圧(端子間)
	Sumitomo Heavy Industries, Ltd. 6-1, Asahi-Cho, Oou City, Aichi, Japan	VN932WW Made in Vietnam

注) ギヤ部は各製品の銘板が付きます。

ウルトラプレミアム効率 (IE5) ギヤモータについて

- ・本ギヤモータは、均一荷重・1日10時間の運転条件の下に設計されています。
- 1日10時間を超えて運転される場合や、使用機械の負荷条件によっては、次の負荷係数を見込む必要があります。

運転時間	～3時間／日		～10時間／日		～24時間／日	
負荷条件	均一荷重	軽い衝撃荷重	均一荷重	軽い衝撃荷重	均一荷重	軽い衝撃荷重
プレストNEOギヤモータ ハイポニック減速機	-	-	1.00	1.25	1.25	1.50
サイクロ減速機 ベベル・パディボックス減速機 4シリーズ	0.80	1.00	1.00	1.20	1.20	1.35

- 注) 1. 激しい衝撃荷重がかかる用途や人員輸送用装置、昇降装置には使用できません。
2. 標準仕様の設置場所は、屋内および屋外(強い風雨は直接かからないが、一般的な雨水がかかる場所)です。露天環境で強い風雨を直接受ける場所では、カバーの設置もしくは耐暴風雨屋外形をご指定ください。
3. ブレーキは保持用としてご使用ください。
4. 端子箱は海外仕様(欧州向け)と同じ大型の端子箱となります。
5. モータの回転方向は、国内向け三相誘導モータの逆回転(モータ軸は反負荷側から見て左回転)となります。
6. 配線距離が長い場合は、性能を満足しない恐れがあります。
7. 始動時に正転または逆転方向に動く場合があります。逆転すると不具合が生じる場合には初期磁極位置推定が可能なインバータをご使用ください。
8. インバータの初期磁極位置推定機能を使用して始動する場合、若干の始動遅れが発生します。また始動時に甲高い音が鳴る場合がありますが、これは位置推定の動作であり、異常動作ではありません。
9. 磁石モータのため、電源を切った状態でもモータ軸が回転すると端子に電圧が発生します。回転中は作業をしないでください。感電のおそれがあります。
10. 過大な電流が流れると減磁する場合がありますので必ずインバータの過負荷保護機能をご使用ください。

制御用インバータ



ウルトラプレミアム効率 (IE5) ギヤモータ(永久磁石形同期モータ)の運転には、制御用インバータが必要です。

制御用インバータは、弊社製ギヤモータ用インバータHF-620シリーズ(初期磁極位置推定可能)を推奨します。

HF-620シリーズの詳細はご照会ください。

プレミアム効率三相モータとの相違点

モータ部標準仕様

名称	ウルトラプレミアム効率三相同期モータ			プレミアム効率三相モータ	
種類	永久磁石形同期モータ (PMモータ)			かご形三相誘導モータ	
効率クラス	IE5			IE3	
容量範囲	10P	0.55、0.75、3.0～7.5kW		4P	0.75～7.5kW
	8P	1.1～2.2kW			
保護方式	屋外形 (IP55 防塵防噴流形 屋外)			屋内形 (IP44 全閉防まつ形 屋内) または 屋外形 (IP44 全閉防まつ形 屋外)	
電源	200V級 (インバータ: 200～240V 50/60Hz、 ブレーキ: 200～240V 50/60Hz) または 400V級 (インバータ: 380～480V 50/60Hz、 ブレーキ: 380～440V 50/60Hz)			200V 50/60Hz、220V 60Hzまたは 400V 50/60Hz、440V 60Hz	
定格回転数	1800r/min			1430～1460r/minまたは1730～1770r/min (電源周波数、モータ容量によって異なる)	
最高回転数	1800r/min			3600r/min	
端子箱	アルミ製端子箱			銅板製端子箱	
口出線引出方式	スタッドボルトタイプ端子台式			ラグ式 (プレストNEOギヤモータのみ端子台式)	
口出線本数	3本	ブレーキ無		3本	0.75～3.7kW ブレーキ無
				5本	0.75～3.7kW ブレーキ付
	5本	ブレーキ付		6本	5.5、7.5kW ブレーキ無
				8本	5.5、7.5kW ブレーキ付
ケーブル引出口	Mネジ			屋内形: 丸穴、屋外形: Gネジ	
ブレーキ形式	ブレーキ部標準仕様を参照			ブレーキ部標準仕様を参照	
始動方式	インバータ駆動 (PMモータを駆動可能なインバータ必須)			直入始動 0.75～3.7kW 人ーΔ 始動可能 5.5、7.5kW	
回転方向 (負荷側から見て)	右回転			左回転	
規格	IEC60034-1 効率値はIEC60034-30-2ウルトラプレミアム効率 (IE5) 対応			JIS C 4213 効率値はJIS C 4034-30 および IEC60034-30-1 プレミアム効率 (IE3) 対応	

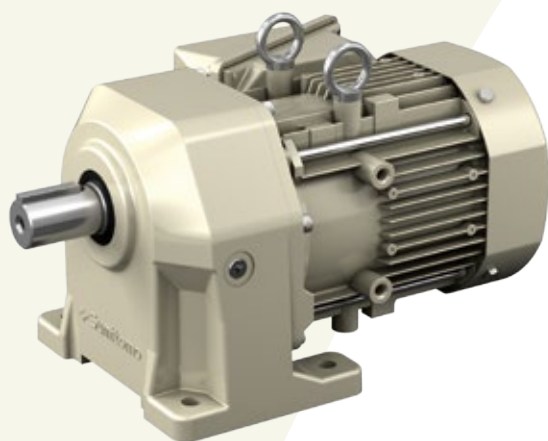
ブレーキ部標準仕様

容量kW	ブレーキ形式／ブレーキトルク (N・m)			
	ウルトラプレミアム効率三相同期モータ		プレミアム効率三相モータ	
0.55	FB-1D	7.5	-	-
0.75	FB-1D	7.5	FB-1E	7.5
1.1	FB-1HE	11	←	←
1.5	FB-2E	15	←	←
2.2	FB-3D	22	FB-3E	22
3.0	FB-4E	30	←	←
3.7	FB-5B	37	FB-5E	40
5.5	FB-8B	55	FB-8E	55
7.5	FB-8B	55	FB-10E	80

- 注) 1. 標準仕様の代表的な相違点の比較です。
2. プレミアム効率三相モータの比較対象範囲は、0.75～7.5kWです。
3. ウルトラプレミアム効率三相同期モータ標準仕様の設置場所は、屋内および屋外 (強い風雨は直接かからないが、一般的な雨水がかかる場所) です。露天環境で強い風雨を直接受ける場所では、カバーの設置もしくは耐暴風雨屋外形をご指定ください。
4. ウルトラプレミアム効率三相同期モータの電源は、インバータの入力電圧、周波数を記載しています。
5. プレミアム効率三相モータの最高回転数は、インバータ駆動時の回転数です。

プレスト® NEOギヤモータ

ギヤモータに求められる使いやすさを極めた、平行軸ギヤモータです。

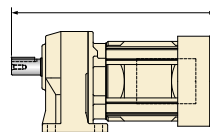


静かな環境でも使える低騒音

高い噛み合い率の歯車と高剛性設計で静かな運転音を実現しました。

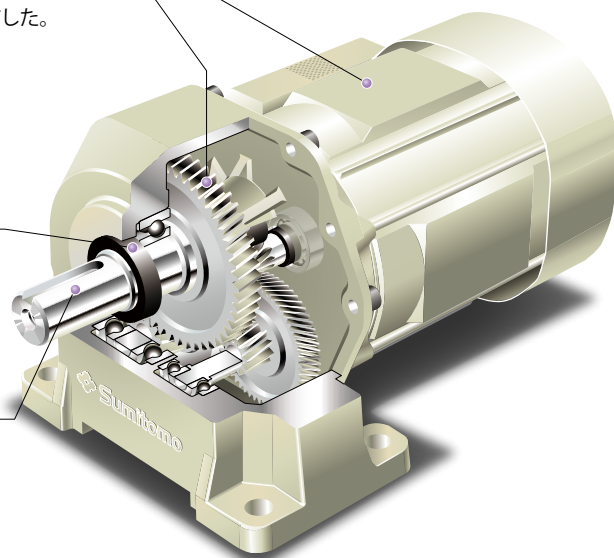
設計時にうれしいコンパクトさ

平行軸ギヤモータにおいて最も重要な「全長」にこだわり、高剛性ケーシングの採用と新開発のモータによりコンパクト化を実現しました。



設計の自由度が広がる大きな許容ラジアル荷重

高負荷容量軸受と高剛性ケーシングの採用により大きな許容ラジアル荷重を実現しました。お客様が設計する際の自由度が広がります。



抜群の密封性能で信頼性向上

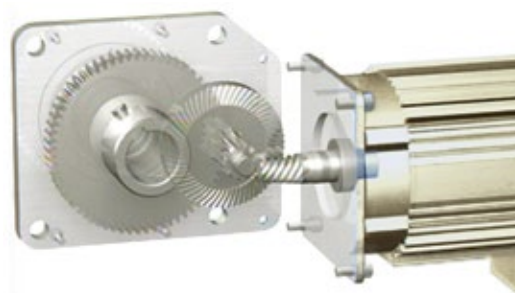
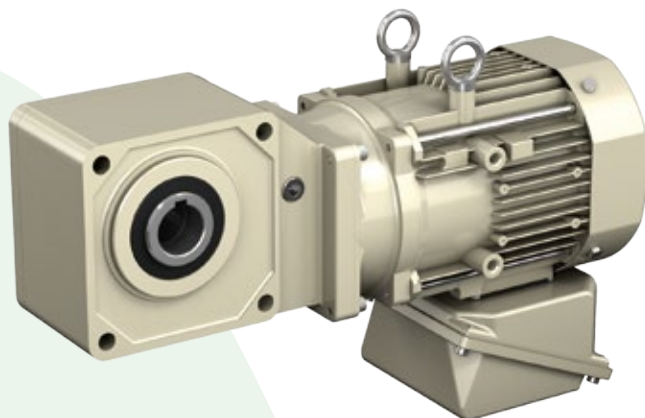
出力軸側に長寿命材質のトリプルリップオイルシールを採用しました。また、モータ側には長寿命材質オイルシールを2個採用し、信頼性を大幅に向上しています。



トリプルリップ
オイルシール

ハイポニック減速機®

ワイドバリエーション直交軸ギヤモータです。



高効率

ハイポニック減速機に採用されたハイポイドギヤは、ウォームギヤと比較して滑りが小さいため、はるかに高い効率が得られます。

タフ&長寿命

歯車にクロムモリブデン鋼を採用し、浸炭焼き入れを行っています。

低騒音

ベベルギヤより噛み合い率が大きいため、静かに滑らかに回転を伝えることができます。

軽量コンパクト

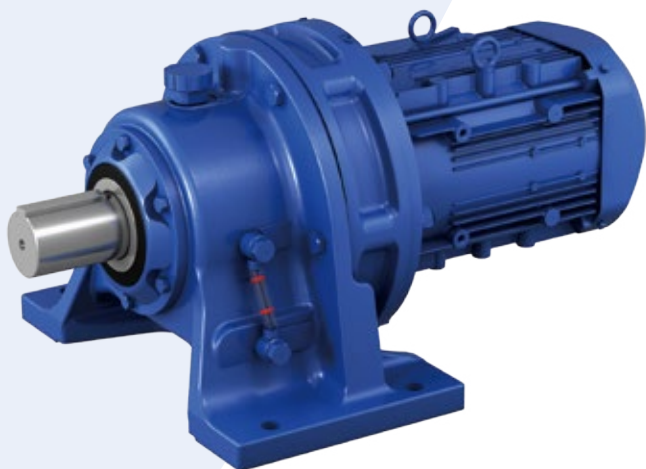
モータ軸とハイポイドピニオンを一体化し、アルミ合金製のケーシングを採用しました。（一部機種を除く）

SF(サービスファクター)対応

SFを大きく取りたい場合、モータ容量を上げずに、減速機枠番のみ1サイズアップすることができます。

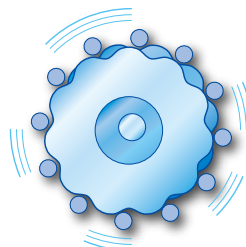
サイクロ®減速機

1939年の生産開始以来、独創的な機構がもたらす優れた性能と高い信頼性

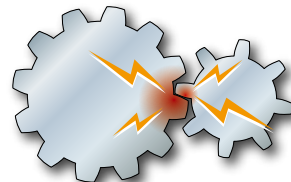


折損しない歯形

サイクロ®減速機の歯車である「曲線板」は、一般的なインボリュートギヤと異なり、独自の滑らかな曲線（エピトロコイド平行曲線）を持っています。また内歯車にも独自の円弧歯形を採用。歯の折損がない滑らかな転がり接触によって、タフで長寿命な減速機を実現しています。（一部の低減速比仕様はヘリカルギヤ、遊星ギヤを採用）



サイクロ®減速機は滑らかな転がり接触



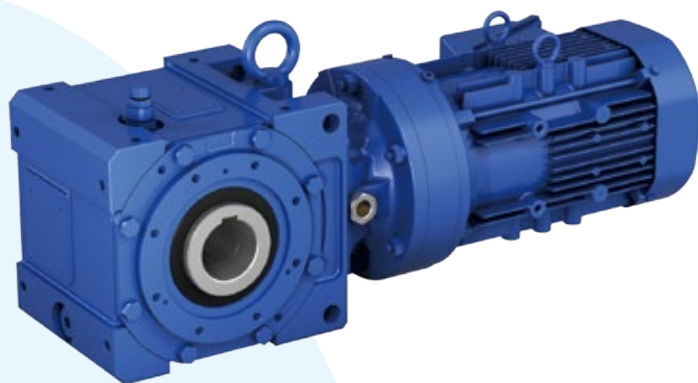
インボリュートギヤは少ない噛み合い率で滑り接触

豊富なバリエーション

最高減速比658503という豊富なバリエーションをラインアップ。

ベベル・バディボックス®減速機 4シリーズ

サイクロ®減速機の特長、豊富なオプションを生かした直交軸ギヤモータ



長寿命・耐衝撃性抜群

入力段にサイクロ®減速機もしくは遊星歯車を使用しているため、平行軸歯車よりも耐衝撃性に優れており、長寿命です。

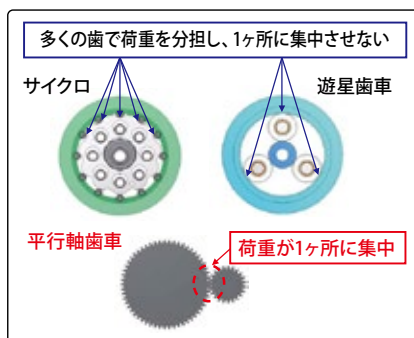


大きな許容ラジアル荷重

FCD製ギヤケースなどの採用により、大きな許容ラジアル荷重を実現しました。

豊富なオプションと応用製品

サイクロ®減速機のオプション・応用製品を使用できるため、様々なアプリケーションに対応することができます。



お問い合わせ

営業所

			TEL	FAX
北海道	〒007-0847	北海道札幌市東区北 47 条東 16-1-38	011-781-9802	011-781-9807
仙台	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町 1-2-33 M.BALANCE 仙台一番町	022-264-1242	022-224-7651
北関東	〒330-0854	埼玉県さいたま市大宮区桜木町 4-242 鐘塚ビル	048-650-4700	048-650-4615
千葉	〒260-0045	千葉県千葉市中央区弁天 1-15-1 細川ビル	043-206-7730	043-206-7731
東京	〒141-6025	東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower	03-6737-2520	03-6866-5171
横浜	〒220-0005	神奈川県横浜市西区南幸 2-19-4 南幸折目ビル	045-290-6893	045-290-6885
長野	〒380-0936	長野県長野市岡田町 166 森ビル	026-226-9050	026-226-9045
富山	〒939-8071	富山県富山市上袋 327-1	076-491-5660	076-491-5604
金沢	〒920-0919	石川県金沢市南町 4-55 WAKITA 金沢ビル	076-261-3551	076-261-3561
静岡	〒422-8063	静岡県静岡市駿河区馬淵 3-2-25 T.K BLD	054-654-3123	054-654-3124
中部	〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦 1-5-11 名古屋伊藤忠ビル	052-218-2980	052-218-2981
四日市	〒510-0064	三重県四日市市新正 4-17-20	059-353-7467	059-354-1320
滋賀	〒527-0011	滋賀県東近江市八日市浜野町 3-7	0748-23-8201	0748-23-8202
京都	〒604-8187	京都府京都市中京区御池通東洞院西入ル笹屋町 435 京都御池第一生命ビル	075-231-2515	075-231-2615
大阪	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島 2-3-33 大阪三井物産ビル	06-7635-3663	06-7711-5119
神戸	〒650-0044	兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-3-3 神戸ハーバーランドセンタービル	078-366-6610	078-366-6625
岡山	〒701-0113	岡山県倉敷市栗坂 854-10	086-463-5678	086-463-5608
広島	〒732-0827	広島県広島市南区稲荷町 4-1 広島稲荷町 NK ビル	082-568-2521	082-262-5544
四国	〒792-0003	愛媛県新居浜市新田町 3-4-23 SES ビル	0897-32-7137	0897-34-1303
北九州	〒802-0001	福岡県北九州市小倉北区浅野 2-14-1 KMM ビル	093-531-7760	093-531-7778
福岡	〒812-0025	福岡県福岡市博多区店屋町 8-30 博多フコク生命ビル	092-283-3277	092-283-3177

修理・メンテナンスのお問い合わせ

サービステクニカルセンター

名古屋	〒474-0023	愛知県大府市大東町 2-97-1	TEL 0562-45-6402	FAX 0562-44-1998
-----	-----------	------------------	---------------------	---------------------

技術的なお問い合わせ

お客様相談センター <https://www.shi.co.jp/ptc/>

営業時間	フリーダイヤル	0120-42-3196
月曜日～金曜日 9:00～11:45 13:00～16:45	携帯電話から	0570-03-3196
(祝日・弊社休業日を除く)	FAX	0562-48-5183

記載内容は、製品改良などの理由により予告なく変更することがあります。

